

野洲高校学校アンケート結果の分析と 次年度に向けての改善策について

【生徒・保護者アンケートの概要】

令和6年度の生徒・保護者へのアンケート結果について、どの項目も肯定的な意見が多かった。特に高評価（肯定）の意見と低評価（否定）の意見を以下に示す。

【高評価の意見が多かった項目】

（保護者）

- ・ 進学や就職の適切な情報提供を行い、説明会や個別相談などの機会を設けて生徒一人ひとりの進路実現に努めている。
- ・ 担任、顧問、各教科担任や分掌や係、事務室など、協力し素早い連携で学校を運営している。
- ・ 分割授業やチームティーチングを取り入れ、基礎学力の定着に努めている。
- ・ 事故、病気、怪我などの緊急時に対する体制を整え、適切に対応している。
- ・ 生徒が相談しやすく、安心して生活できる環境作りに努めている。

（生徒）

- ・ 先生は授業内容を工夫し、「わかる授業」「達成感のある授業」を行っている。
- ・ 先生は一人ひとりの能力に応じて丁寧に教え、基礎学力が身につくよう努めている。
- ・ 学校は生徒の個人情報を守れないようしっかりと管理している。
- ・ 先生は力を合わせて、野洲高校の教育がうまくいくように協力している。
- ・ 学校は進路に関する情報を提供し個別面談などにより生徒一人ひとりを大切にした進路実現に努めている。

【低評価の意見が多かった項目】

（保護者）

- ・ 授業や学校行事・LHRなどで、学校図書館が活用されるよう、教員や生徒への積極的なはたらきかけに努めている。
- ・ 生徒の交通安全や事故防止、防災・危機対応について、意識を高める指導に努めている。
- ・ 野洲市や地元自治会などとの連携を密にして、地域に根差した学校づくりに取り組んでいる。

（生徒）

- ・ 学校は施設・用具が安全に使われるようきちんと点検している。
- ・ 学校は日常の生徒の健康状態に気を配り、保健衛生活動の推進をしようとしている。
- ・ 学校は生徒一人ひとりに基本的な生活習慣が身につくよう生活指導を行っている。

【改善策について】

- 1 野洲市唯一の高校として、地域に根ざした高校づくりを推進し地域とともに発展を図る。教職員一人ひとりが、これまで以上に地域社会との連携・協働を意識し、開かれた学校づくりを目指して学校運営に取り組む。
- 2 生徒の興味・関心を喚起させる授業を展開し、基礎的・基本的な学力の向上を図る。また、一人一台端末を有効に活用するため、研修等を通して教職員のスキルアップを図る。
- 3 保護者との連絡をより一層密にして、教職員が一丸となって生徒の規範意識の確立に向け粘り強く指導を行う。
- 4 生徒の職業観・勤労観の育成を図り、生徒一人ひとりが納得のいく進路実現を目指す。あわせて、生徒・保護者への情報提供を積極的に進める。
- 5 コロナ渦により縮小化された学校行事の精選を図り、地域と連携を取りながら活性化を図る。
- 6 積極的な図書館利用を促すとともに、教科指導やHR活動等、様々な機会において活発化を図る。
- 7 年1回は必ず防災訓練を実施する。防災意識や交通安全意識等、危機管理に対し綿密に計画して実施し、生徒たちが安全に学校生活を送れるように努める。
- 8 教職員研修を充実させ、より一層効果的な人権学習を推進する。また、教職員は、生徒たちの日々の言動・様子等に対してアンテナを高く保ち、一体となって対応できるよう努める。あわせて、外部機関との連携も充実させ、課題を抱えた生徒一人ひとりに対応した支援に努める。
- 9 「みそあじキャンペーン」や「クリーン大作戦」等、生徒会を中心とした取組を一層活発化させ、生徒の美化意識の高揚と環境意識の向上を図る。
- 10 HR棟の生徒用トイレは改修されたが、学校全体の施設・設備の老朽化は否めない。施設・設備の安全使用や環境整備の啓発活動に努め、安全管理の徹底を図る。また、文書管理・情報管理については教職員一人ひとりが常に高い意識をもち、不備のないように今後も徹底して管理していく。
- 11 学校の動き等はHPを通じて伝えているが、保護者への急な連絡等はマチコミを使って即座に伝わるようにしてきた。今後も、これらのツールを有効活用し、素早い情報提供に努める。